

各関係機関長 様

熊本県農林水産部長

病虫害発生予察警報について（送付）

このことについて、令和2年度（2020年度）病虫害発生予察警報第1号を公表しましたので、送付します。

---

警 報

令和2年度（2020年度）病虫害発生予察警報第1号

農作物名 水稻  
病虫害名 トビイロウンカ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 8月中旬以降
- 3 発生程度 多
- 4 警報発表の根拠
  - (1) 令和2年（2020年）7月10日付けの注意報以降も多数の飛来があり、合志市に設置した予察灯への6～7月の累積誘殺数は782頭（平年48.5頭、昨年98頭）と、坪枯れが多発した昨年度に比べ非常に多かった（図1）。
  - (2) 8月6、7日に早植え水稻（5月～6月上旬移植）25地点及び普通期水稻（6月中～下旬移植）30地点で調査を行った結果、10株当たり成幼虫数は早植え水稻で60.5頭（平年10.8頭、昨年74.8頭）と昨年並みだった（表1、図2）。
  - (3) 7月中旬～8月上旬に行った巡回調査及び特別調査での発生ほ場率は、早植え水稻、普通期水稻とも、昨年を上回っている（図3）。
  - (4) 合志市に設置した無防除田（6月中～下旬移植）における発生は、7月中旬以降、昨年より多く推移している（図4）。
  - (5) 福岡管区気象台が8月13日に発表した九州北部地方1か月予報によると、今後1か月の気温は平年より高い予想であり、トビイロウンカの増殖に好適な条件である。
- 5 防除対策
  - (1) 8月6、7日に行った払い落とし調査結果から、現在発生しているトビイロウンカの生育ステージは、早植え水稻で成虫及び老齢幼虫が主体、普通期水稻で成虫主体だった（表1）。トビイロウンカは増殖率が高いため、現在は低密度のほ場でも8月下旬以降には高密度となり、坪枯れ被害を引き起こす恐れがある。定期的に発生量を確認し、要防除水準を超えた場合は、ただちに防除する（要防除水準：成・幼虫数 7月中旬～8月上旬（2頭/10株）、8月中～下旬（10頭/10株）、収穫30日前（30頭/10株））。
  - (2) 飼料用米等の多肥栽培や栽培期間の長い品種では、多発する傾向があるので注

- 意する。
- (3) 現在までの飛来状況より、早植え水稻は6月18～21日飛来、7月2～5日飛来及び7月9～13日飛来、普通期水稻は7月2～5日飛来、7月9～13日飛来及び7月25～27日飛来が定着していると思われる。各地域の予想される防除適期（表2）を参考に、ほ場での発生状況を確認し防除を行う。
  - (4) トビイロウンカは、水稻の株元近くに寄生しているため、粉剤及び液剤は、株元に付着するように散布する。
  - (5) 天候不順により粉剤または液剤の散布が困難な場合は、粒剤による防除を行う。粒剤を使用する場合は、粒剤が水面に到達するように散布し、4～5日間湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしない。
  - (6) WCSでの防除の際は、特に収穫前使用日数を注意する。防除が実施できない場合は、早刈りして被害を回避する。
  - (7) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行なうなど、危害防止に努める。

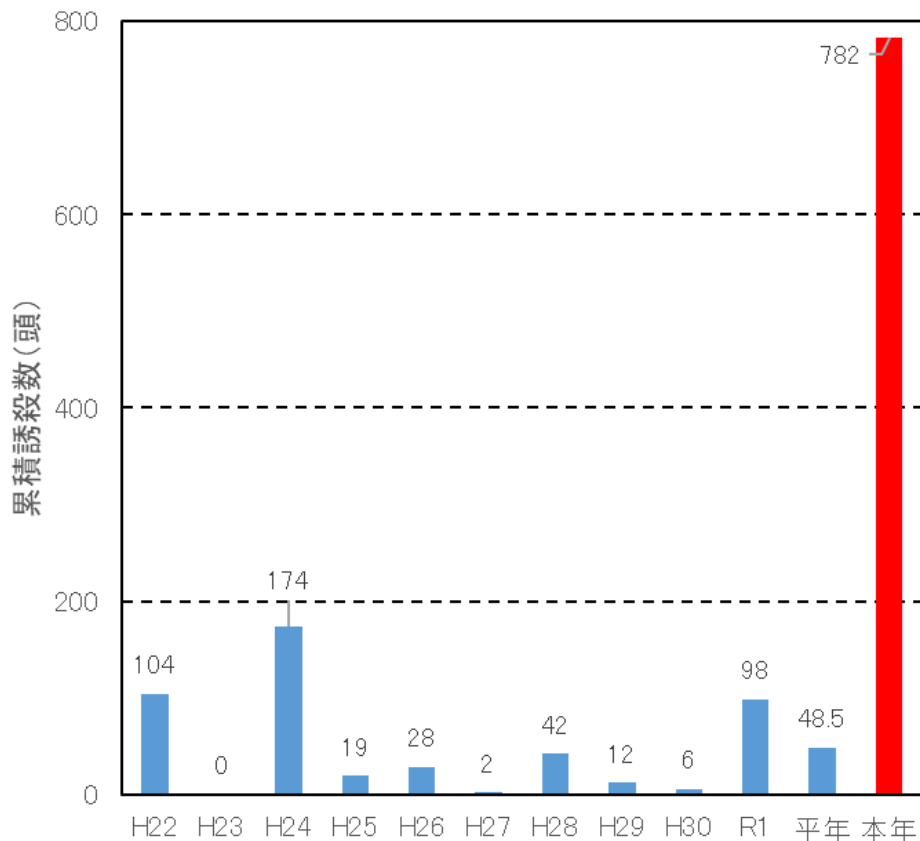


図1 予察灯におけるトビイロウンカ累積誘殺数（合志市、6～7月）

表1 トビイロウンカの発生状況（10株あたり頭数）

（1）早植え水稻

地点名	成虫				幼虫			計	
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齡	中齡	若齡		
早 植 え 注2)	山鹿市鹿北1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3
	山鹿市鹿北2	0.3	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3	4.3
	山鹿市菊鹿1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.7
	山鹿市菊鹿2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	阿蘇市狩尾1	1.0	0.0	4.0	3.3	8.3	2.3	1.7	20.7
	阿蘇市狩尾2	0.0	0.0	1.0	0.3	2.7	4.7	4.0	12.7
	阿蘇市的石1	1.7	0.3	2.3	1.0	10.3	9.0	1.3	26.0
	阿蘇市的石2	1.3	0.3	4.3	1.0	4.3	6.7	5.3	23.3
	南小国町赤馬場1	2.3	0.0	0.3	1.7	1.3	1.3	1.0	8.0
	南小国町赤馬場2	0.3	0.0	2.0	6.7	62.3	39.3	1.0	111.7
	南阿蘇村久木野1	0.3	0.7	2.0	3.3	13.7	4.3	0.0	24.3
	南阿蘇村久木野2	0.3	0.0	1.0	3.0	9.3	5.7	0.3	19.7
	山都町入佐1	8.0	2.7	13.0	12.0	5.3	4.0	4.7	49.7
	山都町入佐2	0.3	0.3	9.7	25.7	106.7	46.3	1.0	190.0
	甲佐町寒野1	0.0	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	1.0
	甲佐町寒野2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市二見町1	11.3	2.3	25.0	34.3	21.3	7.7	14.3	116.3
	八代市二見町2	36.7	29.0	25.7	66.3	33.0	14.3	30.3	235.3
	芦北町宮浦1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3
	芦北町宮浦2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	芦北町天月1	0.7	0.7	3.0	4.3	2.0	0.7	1.0	12.3
	芦北町天月2	56.7	46.0	39.0	82.7	126.0	19.7	0.7	370.7
	あさぎり町上1	0.3	0.0	3.3	1.0	0.3	1.0	0.3	6.3
	あさぎり町上2	1.3	0.0	2.3	5.3	0.3	0.3	2.3	12.0
	錦町一武1	16.3	5.7	71.3	81.0	48.3	25.0	19.0	266.7
	平均（25ほ場）	5.6	3.5	8.4	13.4	18.3	7.7	3.6	
		成虫 計			30.9	幼虫 計		29.6	
計（成虫・幼虫）	60.5								
発生ほ場率	92.0%								

注1) 調査は8月6、7日に、1ほ場あたり30株払い落としを行った。

注2) 早植え水稻は5～6月上旬移植とした。

注3) 計はラウンドの関係で一致しない。

(2) 普通期水稻

地点名	成虫				幼虫			計	
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齡	中齡	若齡		
熊本市画図1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	
熊本市画図2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	
熊本市中無田1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
熊本市中無田2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
熊本市富合町木原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
熊本市富合町平原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
宇城市松橋町1	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.7	
宇城市松橋町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	
玉名市両迫間1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
玉名市両迫間2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	
玉名市横島1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
玉名市横島2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
山鹿市鹿央町1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	
山鹿市鹿央町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
山鹿市鹿本1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	
山鹿市鹿本2	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	1.0	
菊池市赤星1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
菊池市赤星2	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	
大津町陣内1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	
大津町陣内2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	
嘉島町上六嘉1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
嘉島町上六嘉2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
益城町福原1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
益城町福原2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	1.3	
八代市高田1	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.7	
八代市高田2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	
八代市鏡町1	1.7	0.0	2.7	3.0	0.3	1.0	0.3	9.0	
八代市鏡町2	1.0	0.0	2.0	3.3	0.7	0.3	0.3	7.7	
氷川町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
氷川町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
普通期 注2)	平均(30ほ場)	0.2	0.0	0.2	0.2	0.1	0.0	0.1	
		成虫 計			0.6	幼虫 計		0.2	
	計(成虫・幼虫)	0.8							
	発生ほ場率	53.3%							

注1) 調査は8月6、7日に、1ほ場あたり30株払い落としを行った。

注2) 普通期水稻は6月中～下旬移植とした。

注3) 計はラウンドの関係で一致しない。

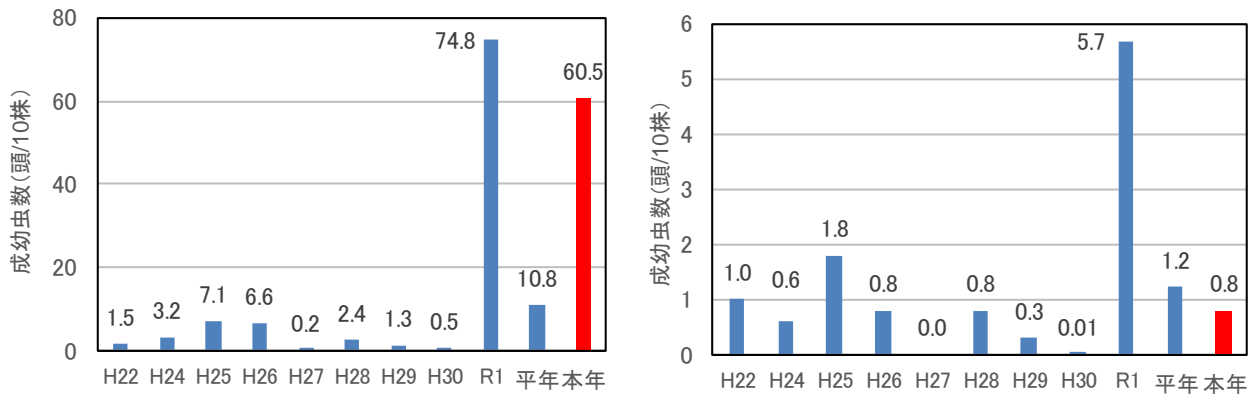


図2 水稲ほ場における8月上旬のトビイロウンカ発生数の比較  
 (左：早植え水稲 右：普通期水稲)  
 注) 平年は過去10年平均 (平成23年：データ欠測を除く)

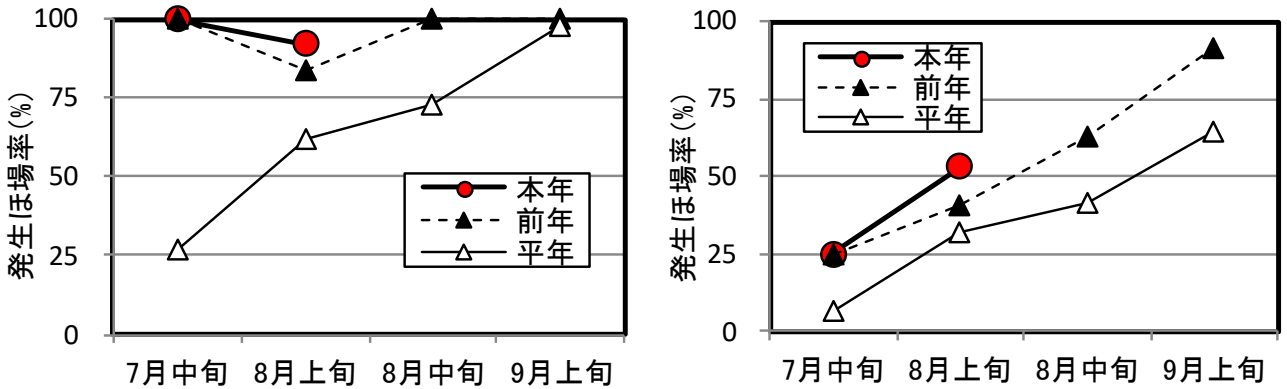


図3 早植え水稲及び普通期水稲におけるおけるトビイロウンカの発生ほ場率推移  
 (左：早植え水稲 右：普通期水稲)  
 注) 平年は過去10年平均 (平成23年：データ欠測を除く)

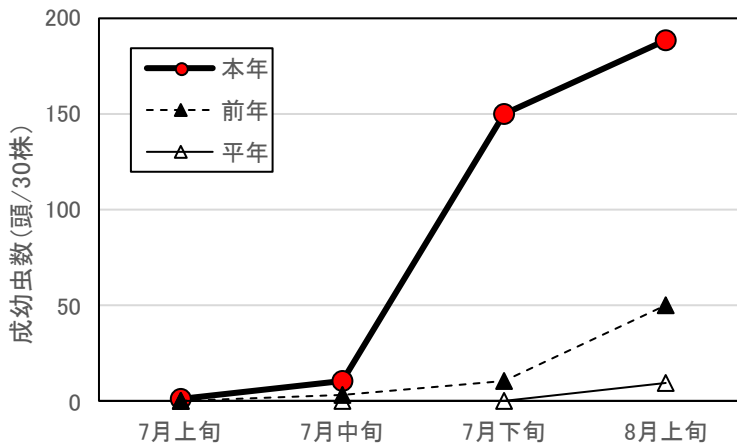


図4 無防除田におけるトビイロウンカ発生推移 (合志市、6月中～下旬移植)

表2 予想されるトビイロウンカの防除適期（8月11日試算）

※気温によって変動するため、最新の情報を入手し更新する。

＜6月18～21日飛来＞（対象：早植え水稻）

地点名	第2世代幼虫 防除適期
阿蘇乙姫	8月20日 ～ 8月30日

＜7月2～5日飛来＞（対象：早植え水稻，普通期水稻）

地点名	第2世代幼虫 防除適期	第3世代幼虫 防除適期
熊本	8月19日 ～ 8月28日	9月19日 ～ 9月28日
三角	8月21日 ～ 8月29日	9月21日 ～ 9月29日
岱明	8月20日 ～ 8月28日	9月20日 ～ 9月29日
鹿北	8月24日 ～ 9月2日	10月2日 ～ 10月11日
菊池	8月22日 ～ 8月31日	9月26日 ～ 10月5日
阿蘇乙姫	8月31日 ～ 9月10日	-
甲佐	8月21日 ～ 8月31日	9月24日 ～ 10月5日
八代	8月20日 ～ 8月30日	9月20日 ～ 10月1日
水俣	8月21日 ～ 8月31日	9月23日 ～ 10月4日
人吉	8月23日 ～ 9月2日	9月27日 ～ 10月7日
本渡	8月22日 ～ 8月31日	9月25日 ～ 10月5日

＜7月9～13日飛来＞（対象：早植え水稻，普通期水稻）

地点名	第2世代幼虫 防除適期	第3世代幼虫 防除適期
熊本	8月25日 ～ 9月3日	9月26日 ～ 10月5日
三角	8月27日 ～ 9月6日	10月1日 ～ 10月11日
岱明	8月26日 ～ 9月5日	9月30日 ～ 10月10日
鹿北	8月31日 ～ 9月10日	10月13日 ～ 10月30日
菊池	8月28日 ～ 9月7日	10月5日 ～ 10月17日
阿蘇乙姫	9月8日 ～ 9月18日	-
甲佐	8月28日 ～ 9月7日	10月3日 ～ 10月15日
八代	8月26日 ～ 9月6日	9月30日 ～ 10月12日
水俣	8月27日 ～ 9月6日	10月1日 ～ 10月12日
人吉	8月29日 ～ 9月8日	10月5日 ～ 10月19日
本渡	8月28日 ～ 9月7日	10月2日 ～ 10月14日

＜7月25～27日飛来＞（対象：普通期水稻）

地点名	第2世代幼虫 防除適期
熊本	9月9日 ～ 9月17日
三角	9月9日 ～ 9月19日
岱明	9月9日 ～ 9月17日
鹿北	9月16日 ～ 9月24日
菊池	9月11日 ～ 9月20日
甲佐	9月11日 ～ 9月20日
八代	9月9日 ～ 9月18日
水俣	9月11日 ～ 9月20日
人吉	9月13日 ～ 9月22日
本渡	9月13日 ～ 9月21日

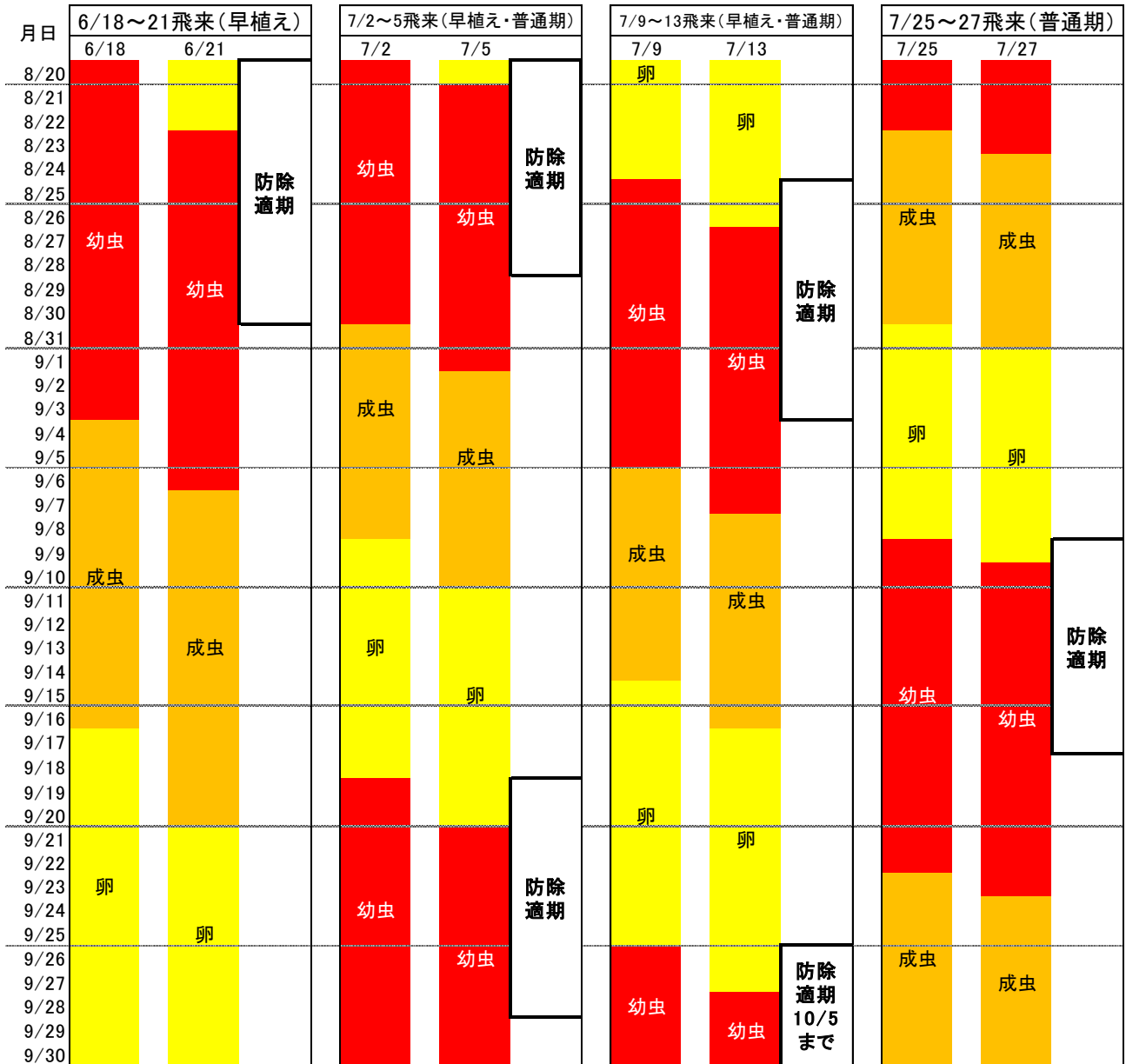
注)各地点のアメダスデータ平均気温(本年値及び平年値)をもとに、有効積算温度により发育ステージを予測した。

ステージ	有効積算温度 (日度)	发育0点 (°C)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

<参考>

予想されるトビイロウンカの生育ステージ

< 8月11日試算、アメダス地点：熊本（6/18～21飛来のみ阿蘇乙姫） >



○熊本県農林水産部生産経営局  
 農業技術課植物防疫・農薬監視班  
 担当：児玉・田嶋 TEL：096-333-2381  
 ○熊本県病害虫防除所  
 (熊本県農業研究センター生産環境研究所  
 病害虫研究室予察指導係)  
 担当：西本・作本 TEL：096-248-6490